



目次▶ ①…企画展 ②…1月～3月事業報告 ③…4月～6月事業予定 ④…春の花、開館カレンダー

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について



- 感染の状況によって掲載のイベントが中止になることがあります。
- 発熱や咳など風邪のような症状がある方のご来館・ご参加はご遠慮ください。
- ご入館・ご参加時には三密を避け、マスクの着用をお願いします。
- ご入館時に緊急時の連絡・確認等のため、連絡先などのご記入についてご協力をお願いします。
- 感染防止のため、手指の消毒の徹底をお願いします。
- 館内での密集を防ぐため、一時的に入場制限をさせていただく場合があります。

企画展 令和元年度・令和2年度 発掘調査成果展 4月24日(土)～5月23日(日)



▲ユカンボシE1遺跡 発掘調査の様子

今回の発掘調査成果展は、恵庭市郷土資料館が令和元年度と令和2年度に実施した遺跡の発掘調査や試掘調査で発見された資料(縄文土器や石器など)の実物や発掘調査の様子を写した写真などの展示を行います。令和元年度の発掘調査成果展は昨年の5月に実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休館により、展示を延期していたことから、今回は2か年

分の展示を行います。

恵庭市は、古来より河川によってもたらされる水資源に恵まれた場所で、市内各地では多くの遺跡が発見されております。その数は現在130ヶ所以上を数え、住宅街にも多く存在していることから、生活に適した場所は、今も昔も大きく変わることがないことがわかります。令和元年度は遺跡の内容や有無を確認するための調査(試掘調査)が9か所で行われ、黄金中央で新たに1か所の遺跡を発見することができました。

令和2年度は恵南(ユカンボシE1遺跡)と和光町(ユカンボシE13遺跡)のいずれもユカンボシ川の近くに位置する2か所の遺跡で発掘調査が行われ、縄文時

代の竪穴建物跡や焼土(火を使った跡)などの生活の痕跡や、縄文土器や石器などの道具がみつかりました。このほか、試掘調査を8か所で行い、戸磯や西島松で新たに4か所の遺跡を発見することができました。4月24日(土)には、今年度の第1回目の「カリンバ土曜講座」で、令和2年度の発掘調査成果を中心に解説を行います。

▼ユカンボシE13遺跡 発掘調査の様子



1月 ● 5日～28日…令和2年新収蔵資料展 ● 16日…カリンバ土曜講座①

2月 ● 6日～3月14日…ひな人形展 ● 20日…カリンバ土曜講座②

3月 ● 20日…カリンバ土曜講座③

令和2年新収蔵資料展

1月5日～1月28日

令和2年中に市民のみなさまよりご寄贈いただきました資料25件 109点の中から54点を選択し、窓鍬(まどぐわ)、唐竿(からさお)などの農機具、機械式計算機、おひつ、トランシーバーなどの生活用具、戦時中の文書、行李の他、大型のホールクロックなど様々な分野の寄贈資料をご紹介しました。



▲展示資料の一部

カリンバ土曜講座

2月20日・3月20日

2月20日に本年度2回目の講座「千歳の遺跡ものがたり～北海道の歴史を紡ぐ～」を開催しました。講師は千歳市埋蔵文化財センター主事の和田由希絵氏で、定員の20名の方が参加されました。千歳市は約2万年前の旧石器時代から約300年前のアイヌ

文化期の遺跡が連綿と見つかっています。和田氏は、千歳から史跡キウス周堤墓群など素晴らしい遺跡が数多く見つかる理由として、日本一低い分水嶺があり交通の要所だったこと、また樽前山などの厚い火山灰に覆われたことで遺跡の残りが良いことなどを理由に挙げ、参加者の皆さんも頷いておられました。

3回目の講座「北広島の遺跡と発掘調査」は(公財)北海道埋蔵文化財センター主査の藤井浩氏を講師にお迎えし、3月20日に開催しました。参加した18名の方は、あまり知られていない北広島の遺跡の話に熱心に聞いておられました。



▲2回目の講座の様子

「むかしの人の道具しらべ」学習

11月～2月

毎年取組んでいる「むかしの人の道具しらべ」学習が、今年も行われました。新型コロナウイ

ルス感染拡大防止措置が取られるなか、市内5校、市外1校から元気いっぱい的小学3年生 約400人が郷土資料館を訪れました。



▲説明の様子

これは、小学3年生が学ぶ社会科副読本の学習単元の一コマで、郷土資料館に行って昔の人の道具について、使い方、今使用しているどんな道具と似ているのか、特徴などを調べたり、スケッチして記録する学習です。また、コロナ禍では実施できない時期もありましたが、一部小人数に分散して、資料に実際に触れ、動かしてみる体験コーナーを設置し、むかしの道具への理解をより深めていただくことができました。



▲石臼で豆を挽く体験

事業予定



4月 ●24日～5月23日…R1・2年度発掘調査成果展 ●24日…カリンバ土曜講座①

5月 ●22日…カリンバ土曜講座②

6月 ●26日…カリンバ土曜講座③ ●中旬…ふるさと散歩見学会又は歴史の道見学会

カリンバ土曜講座

今年で9年目を迎えるカリンバ土曜講座は「道央部の遺跡Ⅲ」を共通テーマとして計3回開催予定です。ぜひご参加下さい。

4月24日(土) 恵庭市郷土資料館 学芸員 鈴木将太
「ユカンボシ川流域の発掘調査～令和2年度の調査から～」

5月22日(土) (公財)北海道埋蔵文化財センター 主査 立田 理氏
「縄文海進最盛期の遺跡～今より温暖だった縄文時代前期の特色について～」

6月26日(土) 千歳市埋蔵文化財センター 主事 茅原 明日香氏
「あなたの知らない周堤墓の世界～キウスからカリンバまで～」

時間

各回10時00分から11時30分

会場

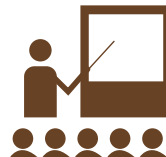
恵庭市郷土資料館

定員

各回先着20名

その他

事前申し込み必要
要マスク着用



アイヌ政策推進交付金事業

恵庭市は「恵庭市アイヌ施策推進地域計画」を策定し、令和2年度から5年度まで「アイヌ政策推進交付金事業」を実施します。令和2年度に海外派遣などを予定していた『アイヌ文化マスター育成事業』は新型コロナの為、残念ながら中止となりました。令和3年度は視察・研修先を道内のみとして同事業を行う予定です。概要は右記のとおりです。多くの方のご応募をお待ちしております。

アイヌ文化マスター育成事業

- 令和2年7月から令和3年2月の毎月1度(日曜日を予定)、恵庭市郷土資料館や平取町、白老町の国立アイヌ民族博物館などでアイヌ文化を学びます。
*令和3年度は海外派遣を行いません。
- 市内在住の中高生から公募し、対象者6名を有識者委員会が選出します。募集要項は令和3年5月ころに、市の広報やホームページなどに掲載する予定です。



▲黄金中央で発掘された約400年前のアイヌ民族の家の跡

※当ページ掲載の事業は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための対策を講じた上で実施予定です。ただし、今後の感染拡大状況等によっては、事業を中止する場合があります。その際は市のホームページ等でお知らせします。あらかじめご了承ください。

春 の 花

今年は、暖かい日が続いたため雪解けが早く、郷土資料館敷地内の日当たりの良いところでは、もう早春の花が咲いています。

フクジュソウ



毎年春一番に花を咲かせます。固い雪と氷の下から頭をもたげるようにつぼみをつける姿はたくましく、柔らかい日差しを浴びた黄色い花びらがまぶしいです。

フキノトウ



折り重なるように積もった枯葉の中から出てきました。今は苞(ほう)とよばれる葉にくるまれていますもうすぐ花が顔を出します。



郷土資料館 開館カレンダー



4月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

5月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

6月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

- 毎週月曜日が**休**館日です。
…▶ただし、月曜日が休日の場合、**開館日**です。その場合、振替となり火曜日、水曜日が**休**館日となります。
- 休日は**開館日**とし、翌日が**休**館日になります。
…▶ただし、土曜日、日曜日にあたる場合は、**開館日**です。
- 毎月最終金曜日は、資料整理のため**休**館日となります。
- 年末、年始の**休**館日は、12月28日～1月3日です。

休館日の詳細



編集後記

道の駅周辺の開発が進み、この春からはホテルの建設が始まりました。年内には某コーヒーチェーン店も開店するそうです。一方、資料館はとうとう自動販売機が撤去されてしまいました。残念…! (よ)

資料館だより No.55 2021年4月1日発行

発行 恵庭市郷土資料館 住所 〒061-1375 恵庭市南島松157-2 TEL/FAX 0123-37-1288

開館時間 午前9時30分～午後5時 入館料 無料